一番先に登場したのは鬼ヶ嶽。場所前の総見で好調だったが場所に入ってもその好調さを維持し、ここまで2敗。もし優勝ということになれば、実に１２７回場所以来１３年振りの快挙となる。

前日には、伝家の宝刀、得意ののど輪からの押し倒しで西神門を下し、優勝してもおかしくない実力と実績を持ち合わせている。対する出羽翼はすでに負け越していて、今ひとつモチベーションが上がっていない様子。相撲は両者の勢いそのままに鬼ヶ嶽が勝って、まずは２敗を守った。

出羽翼●（寄り切り）○鬼ヶ嶽

三役揃い踏みのあと、西神門と剛勇山が土俵に上がる。順当に行けば西神門だろうが、今場所の剛勇山は侮れない。「今場所の剛勇山は怖い存在ですよ！」と警戒する春日根親方。西神門も優勝すれば、当然ながら大関昇進の話が持ち上がると思われ、そのためにもここで負けるわけにいかない。勝負は西神門が圧倒して剛勇山に勝ち２敗を守った。

剛勇山●（寄り切り）○西神門

そして迎えた結びの大一番。大神楽にとっては一世一代の大勝負。この一番に勝てば、優勝と磯ノ海部屋悲願の横綱昇進を掴み取ることになる。

しかし、この日は幕下で千丈岳が全勝優勝と十両昇進を決め、磯蛍も勝って十両昇進を確実にするなど、いいことずくめ。「磯ノ海さん、今日はちょっと勝ちすぎているんじゃない？他が勝っていると大神楽には逆風だよ！」と鹿賀乃戸親方。

磯ノ海親方にとってはこれまでにない最高の緊張が走る中、立行司木村章之助の軍配が返る。大神楽はうまく土俵を周りながら千代鈴の差し身を嫌ったが、最後は差されて寄り切られた。

「あ～あ！」と館内からは大きなため息が漏れる。とともに「これで４力士による決定戦だ！」と友砂親方が叫ぶ。「大神楽にはまだ優勝のチャンスがあるからね」と錦風親方。これを聞いて大神楽も気合いを入れ直した。

決定戦の組み合わせはくじ引きによって決まった。くじ引きの結果、西神門と鬼ヶ嶽、千代鈴と大神楽の対戦となった。

大神楽●（寄り切り）○千代鈴

「また、千代鈴かぁ！今度こそは！」と気合いを入れる磯ノ海親方。

まずは西神門と鬼ヶ嶽が対戦。本割では西神門は鬼ヶ嶽に敗れているだけに嫌な相手。「こういう時に青木さんが下りてきて嫌がらせをするんですよね！」と春日根親方。しかし、ここは西神門が鬼ヶ嶽ののど輪を許さずにリベンジして決勝に駒を進めた。

鬼ヶ嶽●（押し倒し）○西神門

そして、千秋楽結びの再現の千代鈴と大神楽が土俵に上がる。ただ、今度は東が大神楽で西が千代鈴と東西が入れ替わった。「果たして、これがどう相撲に影響するかね？」と錦風親方。再び磯ノ海親方が最高の緊張の中で両者が立ち上がる。

大神楽はいい立合いで千代鈴に左を差させず、時としてのど輪を見せるような攻め口。土俵を時計回りに好機をうかがうが、最後は千代鈴に左を差されて万事休す。大神楽の長い１１日間が終わった。

優勝決定戦は、千代鈴と西神門の春日根部屋の同部屋対決となった。

「稽古場では、この２人は五分ですよ！」と春日根親方。勝負は千代鈴が得意の左差しからの寄りで西神門を下して決定戦を制し、見事逆転で優勝を飾った。

場所前には、大関大神楽の横綱昇進、四季嶋、綱乃花、西神門の関脇陣の大関昇進と、昇進に関する話題で盛り上がったが、結局、西神門の大関昇進のみに留まった。四季嶋は千秋楽の綱乃花戦で負けて綱乃花とともに７勝に終わり、場所後の大関昇進はならなかった。

しかしながら、大関大神楽の横綱昇進、四季嶋、綱乃花の大関昇進は来場所につながった形となり、引き続き、来場所も楽しみな場所となろう。

来場所は、横綱若ノ嶋が進退を賭けて３場所振りに出場見込みで、連覇を狙う千代鈴、今度こそ横綱昇進を決めたい大神楽、新大関で登場の西神門、大関昇進を狙う四季嶋と綱乃花と上位陣による熾烈な優勝争いが展開されるものと思われる。

今場所以上の盛り上がりを期待する第１６２回本場所初日は５月１１日開催の予定。乞うご期待！（錦風）

十両も決定戦　越境山が桃乃洲を破る

場所前は伏兵だった越境山が決定戦を制して十両３場所目で初優勝を遂げた。

九日目まで１敗で単独トップ、このまま逃げ切りを図りたい越境山の十日目の相手は３敗の西勢ノ里。ここまで来たらあと二つ勝って優勝を決めたいところだが、西勢ノ里も８勝を上げれば入幕が見えてくるだけに気合いが入る一番。

だがここは得意の低い体勢から左を差し込んだ越境山が勝って１敗を死守。この結果３敗勢の優勝がなくなり、２敗の桃乃洲、大石丸の３力士に優勝争いは絞られた。

西勢里●（押し倒し）○越境山

迎えた千秋楽。先に土俵に上がった越境山は超刃との一番。当然ながら勝ってすんなり優勝と行きたかったが、両者譲らず取り直しの末に超刃が元三役の意地を見せて押し倒して越境山を破った。

越境山●（寄り切り）○超　刃

そして決定戦進出をかけ２敗の桃乃洲と大石丸の直接対決という絶妙な取り合わせ。行事の軍配が返るや立ち合いからがっぷり四つに組み合う両者。桃乃洲がうまく立ち回り大石丸の反撃を許さずに攻め切り最後は白房下に押し倒して勝負がついた。

桃乃洲○（押し倒し）●大石丸

十両取組終了後、桃乃洲と越境山の決定戦に突入。本割では九日目に対戦して越境山が勝っているが、桃乃洲も千載一遇で巡ってきたこのチャンスをものにしたいところ。しかし、桃乃洲の思惑も空

越境山○（寄り切り）●桃乃洲

２敗で追う桃乃洲と大石丸、ともに一つ差のまま千秋楽を迎えたいところで、桃乃洲は葵盛に、大石丸は柏陵山を下して越境山の十日目での優勝を阻止し、自身の優勝にも望みをつないだ。

桃乃洲○（押し倒し）●葵　盛

大石丸○（押し出し）●柏陵山